



目次

男女共同参画推進室・工学部共催FDを開催しました。	P1
カモミール・カフェを開催しました。	P2
キャリアガイダンスを開催しました。	P2
第5回女性医師就労支援の会を開催しました。	P2
育児休業制度のお知らせ	P3
お知らせ掲示板	P4
かもみーる取材紀行 第3弾 土木への“道”をつくる	P4

~ NEWS Letter ~ 12号 2011.6

男女共同参画推進室・工学部共催FDを開催しました。

平成23年6月8日（水）に工学部第1会議室にて、男女共同参画推進室・工学部共催によるFDを開催し、62名の参加がありました。

今回は、「工学系女子学生をふやし、女性エンジニアを育てよう！」と題し、日本大学生産工学部准教授 野呂知加子氏を講師としてお迎えしました。工学系女性研究者および学生の現状、日本大学の女子学生獲得のための取組についての講演を聴き、会場からは、「大学院に進学する女子学生をふやすには具体的にはどうしたらよいか。」との質問がありました。これに対し野呂先生は「将来の活躍の場やロールモデルの提示が必要。」とお話されました。

終わりに若井和憲工学部長より「理科の面白さを継続的に教えることが必要。女子学生獲得に向け取り組んでいきたい。」とのお話がありました。

出席者の皆さまにアンケートにご協力頂きましたので、以下にご紹介いたします（一部）。



野呂知加子氏



若井工学部長



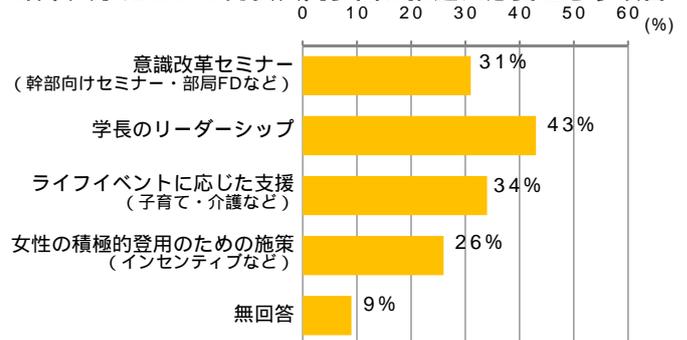
会場の様子

~ アンケート結果 ~

このFDにより理解が深まった項目



岐阜大学において男女共同参画の推進に必要と思う項目



その他 ご意見・ご希望など

- 女性研究者の能力を正しく判断し、登用を推進させる。
- 女性支援というより、社会（男も女もサポートが必要、サポートの重要性。）そのものの仕事のあり方、サポート体制の意識を変えていただかないと思います。サポートも重要な仕事であることを認識すべき。
- 理工系大学に進学希望を持ち続けることができるような小中学校の教育が必要と思う。
- 具体的な数値をもとに分かりやすい講義でした。
- 女性の社会進出は社会全体の問題であり、大学だけの取組はむずかしいように思います。もちろん、我々の努力も必要だと思えます。
- 男社会（良し悪しご意見もありますが）の枠に女性をあてはめるタイプのすすめ方には抵抗があります。「文科省」「予算」というステレオタイプとは違ったもの（社会）がみなさん共同参画ではないでしょうか。
- スライドが多すぎると思います。
- 総花的説明で本質が見えない。「色々やっている」といっても？印象は無い。メリットが不明。メリットがあれば、比率は後から付いてくる。
- 継続的な地道な努力が必要と思いました。

## カモミール・カフェを開催しました。

### 5/25(水)

カモミール・カフェのスタッフが、出前講義オリエンテーションとして講義を行う際の注意点を話ししました。その後、自己紹介を行い、研究内容の他、「最近欲しいもの」をテーマに、それぞれの趣味や日常について話しました。参加した学生からは、「普段、接する機会の少ない他学部の学生と話すことが出来て楽しかった。」との声が聞かれました。



4名の学生が参加し、交流を深めました。

### 6/1(水)

教育学部アクト支援室の後藤信義先生より、「中高生を対象とした出前講義のポイント」と題し、講義を行う際の心構えや生徒の惹きつけ方、質問を受けた際の対応方法などをお話しいただきました。実際の現場での様子を聞くことができ、参加者はより一層講義への意欲を高めたようです。



当日は7名の学生が参加しました。

## キャリアガイダンスを開催しました。

6月14日(火)と21日(火)に、カモミール・カフェにおいて、「キャリアガイダンス-進学について話そう-」を開催しました。大学院進学を考える学部学生が参加し、ランチを食べながら、大学院生の生活はどのようなものなのか、研究室訪問はいつぐらいの時期から始めたらよいか、などについて語り合いました。また、奨学金制度や日本学術振興会特別研究員制度、大学院修了後の進路、大学院時代に気を付けることなど、たくさんの質問があり、カモミール・カフェのスタッフが、これまでの経験を交えながら、お答えしました。



当日の様子

## 第5回女性医師就労支援の会を開催しました。

6月2日(木)に医学部小会議室において、第5回女性医師就労支援の会「キャリア形成：チャレンジ精神を持とう」が開催され、学部生や教員の35名の参加がありました。まず本学医学部の清島真理子氏から、専門医制度や博士号を取得する必要性やメリットについて解説があり、結婚や出産といったライフイベントを乗り越えて着実にキャリア形成をしていくためには計画性をもって進む必要があるとのお話がありました。続いて、東京慈恵会医科大学の川瀬和美氏より、「チャレンジ精神で進む人生とアメリカ留学で変わった人生観」の講演があり、切磋琢磨した研修医時代の生活や留学先の恩師の女性医師から人生観や生活観に影響を受けたこと、またそれらの経験がその後の結婚、出産、育児に結びついているなど、外科医としてチャレンジ精神をもって歩んできたご自身のキャリアについてうかがいました。

講演後には「忙しい勤務の中、どのようにやりくりをしているのか？」との質問の対し、「夫婦のどちらかのできる方がやる。ダメな時には、何重にもサポートを用意しておく。子どもとは短い時間でも密度の高い接し方を心がけている。働く姿をしっかりと見せることも大事では」とのお話がありました。



清島真理子氏



川瀬和美氏



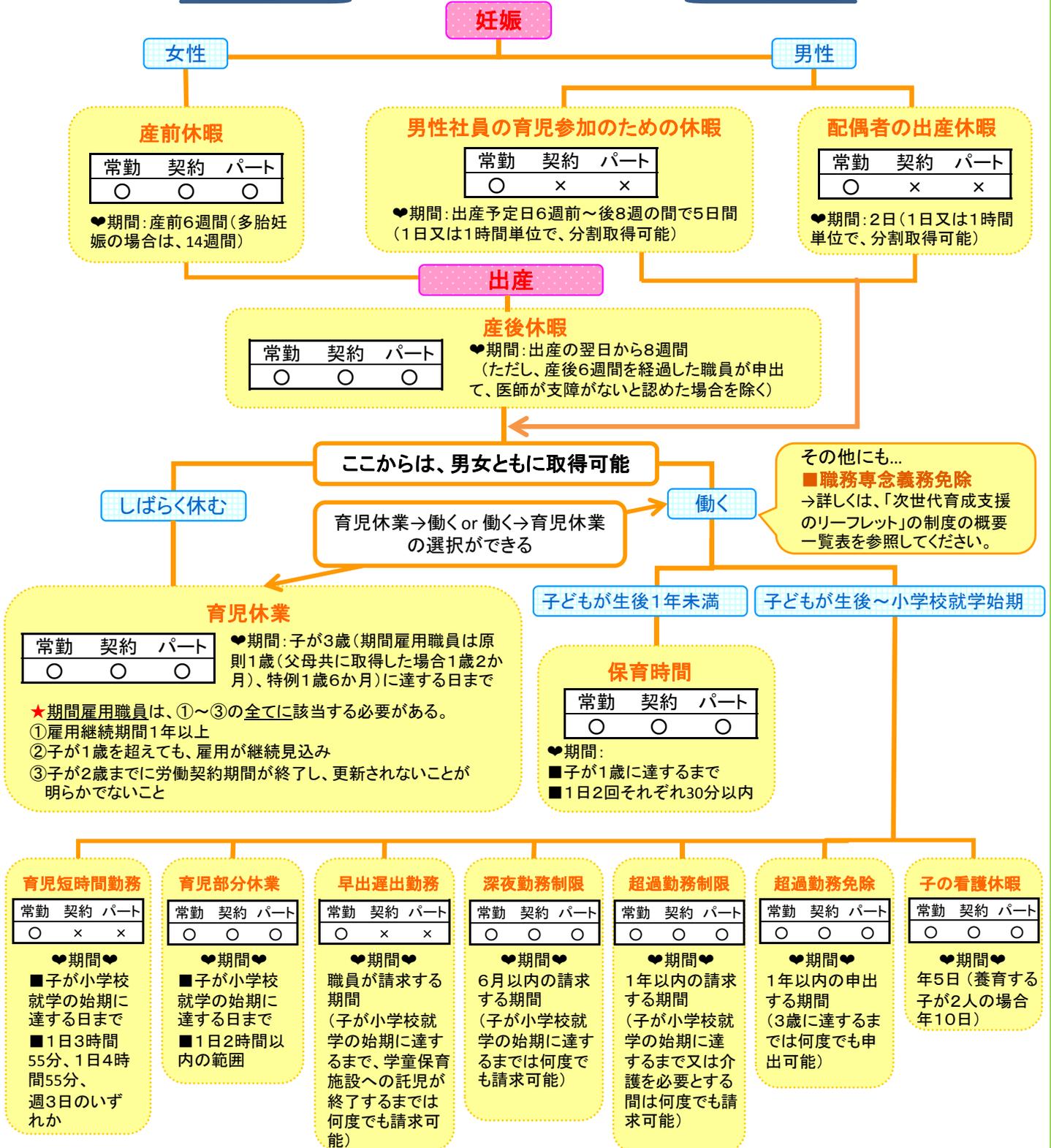
会場の様子

# 育児休業制度のお知らせ

改正育児・介護休業法の施行から一年が過ぎました。しかし、どの制度が自分に適用できるのかわからない方も多いのではないのでしょうか。

岐阜大学では、雇用形態によって適用の可否は異なりますが、フローチャートに示したような制度が設けられています。現在育児中の方、これから育児に臨む方、そしてそのような人と一緒に働く同僚や上司の方にも、この機会に本学の支援制度への理解を深めるために本チャートをご活用頂ければ幸いです。各種制度の適用に関する詳細は人事労務課までお問い合わせください。なお、介護休業制度については別号でお知らせします。

## 働くママ・パパが利用できる育児制度 フローチャート



岐阜大学人事労務課「次世代育成支援のリーフレット」をもとに作成

# お知らせ掲示板

## 特別公開講演会

7月26日(火)にネットワーク大学コンソーシアム岐阜との共催による特別公開講演会を開催します。

### 男女共同参画の実現をめざして スウェーデンの実践例から学ぶ

日時：7月26日(火)  
14:30~16:30

主会場：全学共通教育棟  
多目的ホール

講師：エルスマリー・アンベッケン氏  
(関西学院大学人間福祉学部 教授)

内容：スウェーデンとの比較から、日本の男女共同参画の実現に向けた解決策を考察します。



## カモミール・カフェ 「メンターに会って話してみよう」

カモミール・カフェ「メンターに会って話してみよう」を開催します。毎回異なるメンターが登場します。ランチタイムに先輩のこれまでのキャリア形成について聞いてみませんか？何かヒントが得られるかも？



## オープンキャンパス

8月9日~11日のオープンキャンパスで、男女共同参画推進室の活動やサイエンス夢追い人育成プロジェクトの活動を紹介するパネル展示をおこないます。皆さんに休憩室としてご利用いただけるよう、お茶などを用意してお待ちしています。



## 働く親のための夏休み充実ガイド作成中

「夏休み中の子どもの過ごし方はどうしよう、、、。仕事で手が回らず、子どももワンパターンな生活。せっかくの長期休みなのに、子どもにシワ寄せがいつているのでは。」働く親の悩みです。

子どもも親も充実して夏休みを過ごせるように、岐阜県内の体験学習や子どもが参加できるイベント情報などを載せたガイドを作成中です。

7月中旬頃に希望者にお配りしたいと思います。

こんな過ごし方があるよ、ここはおすすめ、こんな風にして乗り切った、等々、夏休みの子どもたちの過ごし方についておすすめの情報がありませんら、ぜひお寄せください。

## かもみーる取材紀行 第3弾 CIAMの取り組み『土木への“道”をつくる』

かもみーる取材紀行では、男女共同参画や女性研究者育成・支援につながる取組や活動を紹介しています。今回は、平成23年2月24日(水)、社会資本アセットマネジメント技術研究センター(CIAM)が中心となり岐阜市立陽南中学校2年生200名を対象に行われた出前講義を紹介します。この活動は、中学生に土木技術のすばらしさや土木事業の重要性を理解してもらい、将来、土木を目指したいと思う生徒が一人でも増えてほしいという趣旨で平成21年度から行われているものです。

### 平成22年度の講義

- I「ソイルタワー(砂の塔)を造ろう」  
村田芳信 客員教授(CIAM)
- II「良い橋を造ってみよう」  
村上茂之 准教授  
(総合情報メディアセンター)
- III「落石を考えよう」  
沢田和秀 准教授  
(流域圏科学研究センター)

講義を担当した沢田和秀准教授(流域圏センター)

「男は理系、女は文系」という先入観を取り払い、いろいろな選択肢を生徒さん達に伝えることが出来ました。難しく思える分野でも身近なところで役立っていることをお知らせし、興味を持ってもらうよう活動を続けていきます。



▲ジェンガを使って車が通っても崩れない橋を造る生徒さん達



講義に参加した工学部 学術研究補佐員 岩田麻衣子さん

一人の女子生徒が、「すごく面白かった。女性でも工学を勉強している人がいることが分かった。私も岐阜大学の工学部に進学したい。」と言ってくれたことが嬉しかったです。

\*男女共同参画、女性研究者育成・支援につながる取組や活動がありましたら、ぜひ男女共同参画推進室までお知らせください。



岐阜大学男女共同参画推進室(人事労務課男女共同参画係) URL: <http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>  
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel: 058-293-3378 Fax: 058-293-3396 E-mail: [sankaku@gifu-u.ac.jp](mailto:sankaku@gifu-u.ac.jp)